

2004年9月7日

「社会環境報告書2004」の発行

このたび、JR東日本グループの環境などへの取り組みをまとめた「社会環境報告書2004」を発行いたします。

持続可能な社会へ向けたJR東日本グループの活動を、環境面、社会面、経済面の3つの側面から幅広くご紹介いたします。

1 社会環境報告書の発行

JR東日本グループの持続可能な社会へ向けた取り組みについて環境面（地球温暖化防止、資源循環など）、社会面（安全、サービス、地域貢献、社員の働きがいなど）や経済面（経営成績、ステークホルダーとの経済的関わりなど）について幅広くご紹介する「社会環境報告書2004」を発行いたします。本報告書を通じて、多くの方に当グループの取り組みをご理解いただくとともに、ご意見をいただくきっかけとなるツールとして活用してまいります。

また、特に環境面の取り組みをピックアップした「環境ダイジェスト版」も作成し、社員の環境意識をさらに高めるために全社員へ配布するほか、様々なイベント等でも配布してまいります。

今回作成した社会環境報告書の主なポイントは、次のとおりです。

主要な取り組みについてドキュメンタリーで紹介する「ハイライト編」

本報告書は「ハイライト編」と「詳細編」の2部構成としました。

各種取り組みを網羅的にご紹介する「詳細編」に対し、「ハイライト編」では、第一線で取り組む社員にスポットを当て、取り組みの背景にある考え方や詳しい過程を浮き彫りにしています。

【ご紹介内容】

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 「環境配慮型車両E231系はこうして生まれた」 | 「エコドライブの推進で安全性も向上」 |
| 「クリーンな電力で列車を動かす」 | 「安全・安定輸送へのチャレンジ」 |
| 「より速く静かな新幹線をめざして」 | 「駅型保育で働く女性をサポート」 |
| 「駅ビルの生ゴミを肥料にリサイクル」 | |

持続可能な社会構築に向け、率直なご意見をいただいた「ステークホルダー・ダイアログ」

「JR東日本グループが持続可能な社会構築のために何ができるのか」をテーマに、各分野の専門家の方をお招きして開催した、2004年4月1日「第一回ステークホルダーダイアログ」における議論の内容を掲載しています。「インターモーダル」、「クリーンエネルギー活用」、「街づくり」などに関するステークホルダーの皆さまのJR東日本グループへの期待、ご意見が展開されています。

2 2003年度の主な環境保全活動について

全車両に占める省エネルギー車両の比率は、前年度より4ポイント増加し、72%となりました。

【2005年度目標：80%】

地球温暖化防止のための取り組みであるCO₂の削減については、自営水力発電所で使用する水量の増加などの外的要因はあるものの、1990年度に比較して20%の削減となり、目標を達成しました。【2005年度目標：20%削減】

駅や列車でお客さまが出されるゴミのリサイクル率は、前年度より2ポイント増加し、39%となりました。【2005年度目標：40%】

車両工場廃棄物のリサイクル率は前年度より7ポイント向上して81%へ【2005年度目標：75%】、設備工事の廃棄物は同じく8ポイント向上して92%となり、それぞれ目標を達成しました。【2005年度目標：85%】

詳しくは、「社会環境報告書2004」をご覧ください。なお、「社会環境報告書2004」は当社ホームページ (<http://www.jreast.co.jp/eco/>) でもご覧いただくことができます。